

No.	D04	
タイトル	テーダマツ並木を地域資源として保全活用するための技術的取組み	
所属・名前	独立行政法人都市再生機構 筈谷 元彦	
キーワード	① 大高木並木 ② 地域の景観資源 ③ 保全活用計画	
<p>独立行政法人都市再生機構が茨城県つくば市内で手がけた土地区画整理事業地区(葛城地区/約 485ha)内には、従来から植栽されていた北米原産のテーダマツの並木があり、今や樹高は 20m以上に生長し、この地域を特徴づける景観資源となっている。</p> <p>テーダマツは生長が早く樹形が雄大なため街並み景観上の効果は高いが、気候や土壌条件が原産地とは異なり、風害を受けやすい等の樹種特性もあることから、樹木の健全度を把握した上で必要な処置を行う等、今後良好に保全活用していくための対策を講じる必要があった。</p> <p>このため、対象となる全樹木について枝葉密度、支障枝、生育上の異常の有無等の外観診断を行った上で、腐朽の懸念がある樹木についてはさらに樹幹内部の断層画像による精密診断を行った。また、その結果を踏まえ、実際に樹木の剪定や伐採等の処置を行うとともに、樹木毎に詳細なカルテを作成し、今後の維持管理計画を提示した。</p>		